

# 野菜栽培を楽にする機械化作業の開発

山形大学 生物生産学科 准教授 助教 片平 光彦

連絡先 E-mail: mkata43@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp TEL: 0235-28-2904

キーワード: 作業改善・機械化 省力機械

概要: 農業従事者の高齢化、コストダウンを図る大規模経営、農業にはさまざまな課題があります。機械導入による省力化を行うことで農業経営が変わります。

## シーズの特徴

露地野菜の栽培では、定植から収穫・調製まで多くの作業が行われています。これらの作業は、機械を利用することで省力的で、効率的な仕事のやり方にできます。

最近の事例では、

- ①: 長ネギの機械化作業体系の確立
- ②: ヤマノイモ定植作業機の開発
- ③: エダマメ収穫・調製作業の効率化
- ④: バイオエタノールを精製するための効率的な稲わら収集作業体系の確立
- ⑤: 地域特産農産物の機械化作業について研究・開発を行っています。



長ネギの施肥同時溝切り機(特許3817527号)



ハイブリッド  
エダマメ選別機



ヤマノイモ用  
定植機の開発  
(2006年～)

## これまでの活用事例・技術移転

- ・長ネギの施肥同時溝切り機
- ・ハイブリッドエダマメ選別機等

## 研究者からのメッセージ

産学官すべてを渡り歩いています。

参考情報: 特許3817527号

問い合わせ先: 山形大学国際事業化研究センター E-mail: big-i@yz.yamagata-u.ac.jp  
Tel: 0238-26-3602